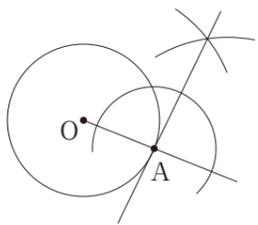


令和7年度採点の手引 (数学)

問題	正 答	配 点	採点上の注意
1	(1) $3x$	4	65
	(2) 4	4	
	(3) $2y$	4	
	(4) $x = -4$	4	
	(5) $\sqrt{7}$	4	
	(6) $(x-5)(x-8)$	4	
	(7) $x = -3, y = -2$	4	
	(8) $x = \frac{1 \pm \sqrt{73}}{4}$	4	
	(9) $y = \frac{12}{x}$	4	
	(10) 35 (度)	4	
	(11) ウ	4	
	(12) $36\sqrt{14}$ (cm ³)	4	
	(13) $\frac{2}{5}$	4	
	(14) $2\pi - 4\sqrt{2}$ (cm ²)	4	
	(15) 13 と 14	4	
	(16) (ア) にあてはまる値) 0.35 (説明) (例) 54回以上の階級における相対度数の合計はA中学校が0.8, B中学校が0.55であるから, 割合が大きいのはA中学校である。	5	内容に応じて部分点を認める。

問題	正 答	配 点	採点上の注意
2	(1) (例) 	5	11
	(2) (証明) (例) △ABDにおいて, 中点連結定理より, EF // BD① EF = $\frac{1}{2}$ BD② 仮定から, DC = $\frac{1}{2}$ BD③ ①から, EF // DC④ ②, ③から, EF = DC⑤ ④, ⑤から, 1組の向かい合う辺が平行でその長さが等しいので, 四角形EDCFは平行四辺形である。	6	
3	(1) ア 13 イ 243	4	14
	(2) (説明) (例) 点C, Dの値は $a+b$, 点E, Hの値は $2a+b$, 点F, Gの値は $a+2b$ なので, $a + (2a+b) + (a+b) + (a+2b) + b + (a+2b) + (a+b) + (2a+b) = 9(a+b)$	5	
	(3) nの値 5 点の最大値 50	5	
4	(1) $y = \frac{3}{2}x + 6$	4	10
	(2) $x = \frac{1 + \sqrt{17}}{2}$	6	
配 点 合 計		100	